

審議会等の会議結果報告書

課所名

企画政策課

会議名 令和6年度 第1回 諏訪市行政改革推進委員会

開催日時 令和7年2月17日(月) 午前10時00分～午前11時50分

出席者

佐久会長、飯田委員、岩波委員、木村委員、倉嶋委員、武田委員、平林委員、増田委員、宮下委員、山岸委員、山谷委員、山村委員(以上12名)
金子市長、前田企画部長、柳平企画政策課長、唐木田スマート化推進係長、矢崎主査、吉田主任、田中主事

資料

- ・資料1 諏訪市行政改革推進委員会について
- ・資料2 令和7年度当初予算(案)の概要
- ・資料3 諏訪市公共施設等総合管理計画(概要版)

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1. 開 会(進行:企画政策課長)

2. 市長あいさつ(金子市長)

お忙しい中、委員の皆さんにはお集まりいただきありがとうございます。2年任期の委員をお引き受けいただき心から感謝申し上げます。現在諏訪市は、第六次諏訪市総合計画に従い行政経営の適正化に取り組んでいます。2月13日には、令和7年度当初予算案を発表しました。「～新時代へ脱皮～魅力をみがく未来伸張予算」ということで一般会計については過去最大級の予算規模となりました。マニフェストにも掲げておりますコンパクトシティ化計画の大きな事業がこれから形になって見えてくるという時期を迎えており、街が変化していく時代に合わせて超少子高齢化社会の中にあっても力を落とさずに事業を進めていくということが見えてくる予算になったと考えているところです。

超少子高齢化社会というのは日本全国同じ状況ですが、社会保障費は固定費として出ます。必然的に人件費の高騰もあり、資材等も高騰し必要経費が上がります。耐震化等災害対策に必要なことも増えています。このような中で自治体の経営自体が成り立つか考えていかなければならない状況です。公共施設の総合管理計画は平成29年に策定し延床面積を10年後に10%削減するという目標に順調に向かっています。業務のスマート化では、印刷機器台数を大幅に削減し印刷やコピーなどを減らすといったペーパーレス推進などの取組も進めております。

今日は委員改選後最初の会議です。委員それぞれのお立場で忌憚のないご意見をいただき、健全で持続可能なマネジメントのための助言やご指導賜りたく存じます。本日はよろしくお願いします。

3. 自己紹介

4. 諏訪市行政改革推進委員会について(事務局説明)

5. 会長の選任

○会長あいさつ

行政も大変厳しい財政運営をされていると思います。この委員会の中で、皆さんの知見から改革案や積極的

な発言を頂きたいと思います。よろしくお願いいたします。

6. 議事

・報告事項

(1) 令和7年度当初予算概要及び財政状況について(資料2) (事務局説明)

(2) 公共施設等総合管理計画の進捗状況(資料3) (事務局説明)

(3) 業務スマート化プロジェクトの進捗状況(実際に活用しているデジタルツールの画像、サイトの投影) (事務局説明)

<質問・意見等>

○委員

昨年の説明と比べて格段に分かりやすかったですし、市民目線の DX が進んでいることもよくわかりました。デジタル化を進める中でのセキュリティ対策をどのようにしているか、またコンパクトシティ化の計画があるということで、移住促進のために DX を進めていることをどのようにアピールしていますか。

○事務局

セキュリティ対策について説明いたします。諏訪市は3層分離という方式でセキュリティ対策をしています。最も重要な、マイナンバー利用事務系と、インターネット、LGWANの3層分離です。様々なアプリやシステムを入れる際には、原則としてインターネットとLGWANと双方で安全に使える仕組みを採用し安全性を担保しています。各課でのシステム導入においては、必ず諏訪市のシステムに適合するか審査を行い、適したものか判断をしたうえで導入するようにしています。なお、セキュリティ対策については最も大切なことは職員の意識醸成です。個々の教育にも力を入れており、研修やチェックリストを使用し、無作為抽出者のテストなど、組織的にを行い、業務スマート化推進委員会にて結果を全庁で共有するという仕組みを取っています。

○事務局

移住促進事業については地域戦略・男女共同参画課で進めています。相談会やセミナー等でかなりアピールをしていますが、おっしゃるとおり諏訪市がやっている事業とリンクしているかというところは弱い印象です。さきほどのコドモンもそうですが、現時点ではまだまだ使いこなそうとしている最中です。宣伝という点ではまだ途上にあるかと思いますので、担当課と連携していきたいと考えます。

○委員

コドモンのアプリの導入は県内でも遅いほうだと思うので、DXのアピールをしても移住促進には残念ながらつながらないと思います。移住についても、子育て世代や若者等、どの年代をターゲットにしていくのかを絞って政策を打っていただかないと DX を進めていても、高齢者ばかりでは無駄になってしまうと感じます。諏訪市のホームページも、若い方向けのサイトになっていないと感じます。若い方はスマホ検索をしますが、パソコンベースの作りになってしまっているの、そこを改善していかないと移住にもつながらないと感じます。

○事務局

若い方向けと言えば、新婚向けの補助金もあります。ホームページについては担当課と情報共有し、若い人にとっても見やすい改善をしていきます。

○委員

上諏訪駅の西口広場整備事業というのは、どこの範囲でしょうか。

○事務局

この基本構想は現時点では広くエリアを定めて自由な発想を取り入れている段階です。今後、様々な議論を経て、どのようなものを作って行ったらよいのかははっきり決まってきたらエリアを絞っていきます。

○委員

ゆめスクールプランについて、南部地区について、話し合いが進んでいるとは思いますが、情報がなかなか降りてこないという話を聞いています。皆さんが不安にならないように逐一とはいかないまでも情報がほしいと思っています。

○事務局

教育総務課で再編について PTA の方や地域の代表の方に再編推進委員会に入っていただき話を進めていると思います。来年度は施設の整備に向けた敷地関係や、通学路についても話し合いがされると思うので、必要な情報が周知されるよう、担当課と情報共有していきます。

○委員

国道 20 号バイパスについて、四賀のあたりは沈下したりするところですが、今どの程度進んでいますか。

○事務局

バイパスは基本的には国の事業として進められているものです。半世紀ぶりとなる県の都市計画道路変更決定がされたということで、一部が事業化され進んでいく段階にあります。ご心配の部分があるかと思いますが、地元説明会は随時開催しているので、必要な情報が行き届くよう担当課と情報共有していきます。

○委員

業務スマート化プロジェクトでは紙削減など、数値目標があるのですか。

○事務局

数値的な目標のうち、紙削減については今年度から目標を立て、令和 5 年度比で毎年 1 割削減、3 年で紙使用量の 3 割減を目指し取り組みを本格化したところです。行政改革推進委員会でも、今まではたくさんの紙の資料をお配りしていましたが、費用対効果や委員の皆さんのご負担という観点から見直し、配布する資料は最小限にして投影して分かりやすく説明をするという手法に転換しています。このほかの数値目標としては、オンライン申請が可能な手続きの数・種類を増やしていくことや、労力を削減できる仕事へのデジタルツール活用を進めています。例えばこの会議の記録を作成するにも AI のツールを使用しています。かつては会議に要した時間の 1.5 倍から 2 倍の時間をかけて職員が文字起こしをしていましたが、今は非常に短時間でできるようになり、業務効率化につながっています。

○委員

業務上、社長さんと話をする機会が多いのですが、地域を代表する産業である製造業界では、人材不足が非常に顕著で、企業も生産性をどうやって上げていくかということに四苦八苦されている印象です。その中で工業用地が諏訪には無いため、離れたところに第 2 工場、第 3 工場を建てなければならず効率が悪くなってしまうという話を聞きます。公共施設の削減の話がありましたが、後利用をどう有効にするかしっかり考えていただきたいと思っています。

○事務局

土地が無いことは諏訪の課題です。農地を守ることも課題です。土地の活用方法を考えていくことは重要だと思っています。産業に活かせる土地活用という観点からも検討していきたいと思っています。

○委員

介護の世界でも人材不足が問題となっています。ニーズはあるが職員が不足しています。公共施設の話について、「さざ波の家」等指定管理している施設がありますが、建物は良くて周辺が沈下してしまっており、結局修理が必要になってきてしまいます。今後建設する施設も周辺についても杭を打って地盤を強化してほしいと思います。また地方創生の考え方についてお聞かせください。

○事務局

人材確保はどこも困っている状態です。来年度から重層的支援体制整備事業の準備もしていきますが、地域が自ら積極的に動くことは難しい部分があります。行政と社協でしっかり協力しながら進めていくことが必要と考えています。地盤の強化についてですが、建物の基礎はしっかり作りますが、例えばグラウンドとか何も建物が無いところに杭を打つかというと高額になってしまうため、現実的にはなかなか難しいところです。地下の給水管や排水管に影響の無いように考えていく必要はあると思います。国で進めている新たな地方創生政策については、まだ詳しい情報が来ていないので現時点の考えは持ち合わせておりませんが、国が発信する情報を注視して進めていきたいと考えています。

○委員

DX を推進していくことは良いと思いますが、高齢者等スマホが苦手な方々の支援はどう考えていますか。公共施設の話で、縮小していくにはどのような見通しを立てているかをお伺いしたいです。地域防災計画の地域防災力向上支援事業とありますが、地区も人手不足の中どんなことをされているのか、3 点について聞かせてください。

○事務局

諏訪市の業務スマート化の大切な方針として、「誰一人取り残さない DX」を掲げています。一律に何でもデジタルに、と切り替えるのではなく、デジタルでは手続きが難しく困る方が出てくる可能性も考慮して、内容に応じて紙や電話対応をする窓口も残し、デジタルに切り替えやすいところから対応していくようにしています。今後一層、デジタル化を進めていく必要はありますが、様々なお立場、年齢の方が居られることを考えながら進めてまいります。公民館ではスマホ講座を開催して、オンライン申請などにも慣れていただくことを支援しています。

○事務局

公共施設については、利用者の意見を聞き、集約する施設であれば、集約される施設の利用者にもご理解いただくよう、関係している方々に丁寧に説明をしていくことが大切と考えています。

○事務局

防災については、各区において防災の機材を買ってもらう事業です。先日区長会議があり、皆さんにお伝えしました。地区の人手不足は当然ありますが、一つの区ではできないけれど、3 つ集まって防災訓練や講演会をやってみるというような活動を工夫して取り組まれています。また市からも発信していきたいと思っています。

○委員

このところの資材や燃料価格の高騰により、中小規模事業者は大変苦しい状況になっています。足元対策ということで補助金を継続的にお願いしたいと思っています。すわっチャオのコワーキングスペースについて、諏訪市以外の場所に人が流れてしまっていることを打開してほしいという要望です。

○事務局

担当課と情報共有していきます。

○委員

先日マイナンバーカードを使ってコンビニで戸籍謄本を取ろうとしたら、取れませんと言われました。コンビニの場所が他市だったからなのか、どこでも取れるシステムだと思っていましたがいかがですか。すわっチャオなど公共施設は電話で予約すると思いますが茅野市等はオンラインでの予約ができます。諏訪はどうなっていますか。上諏訪駅のパークアンドライドが無くなってしまい、駐車場はお金が必要になってしまっています。茅野市は入場券があれば無料で一定時間駐車できるシステムなので諏訪も改善してほしいと思います。

○事務局

マイナンバーカードを用いてコンビニで証明書類を取得するサービスは、6 市町村共通のシステムであり、また、特別な仕様ではなくどこでも取れるものです。そのタイミングでそのコンビニで取れなかった理由が機械なのか本籍地の関係なのか不明ですが、お困りの状況があれば個別に確認させていただきます。公共施設の予約については、諏訪市でも公共施設予約システムの利用範囲を拡充しており、すわっチャオでも利用を開始しています。ID 取得時や本予約(支払)時に窓口に行っていただく必要はありますが、空き状況の確認や仮予約に対応していますのでご利用ください。

○事務局

パークアンドライドが無くなったことについては JR に代替がないか確認します。

7.今後のスケジュールについて(事務局説明)

冒頭でご説明しましたとおり、かねては行政改革の推進に関する重要事項や諏訪市行政改革大綱に基づく取組などの検証を行っていただいております。現在は行政改革大綱が第六次総合計画に統合されており、進捗管理や検証についてはまた新たな枠組で行っています。今日はこの会議で予算の概要を中心にご説明させていただき、貴重なご意見を頂戴しました。

今後の行政改革推進委員会については、本来の目的であれば行政改革の推進に関する大きな変革や、重要事項が生じた際に会長が招集して開催することになっています。定期的な会議の開催とはならない可能性もありますので、開催が必要になった場合は事務局からご案内をさせていただきます。

8. 閉 会 (企画部長)

本日はお忙しいところ長時間にわたり委員各位ご出席いただき、色々な立場から貴重なご意見をありがとうございました。政策に反映していきたいと思います。この委員会だけでなく、ほかのさまざまな所でもぜひご意見いただければと思います。本日はありがとうございました。